

■平和の集い「留萌市平和祈念式典」(戦没者・殉難者追悼式)



▼戦没者や戦争犠牲者の追悼にあわせ、戦争の悲惨さを後世に伝え、平和の大切さを改めて思い起こしてほしいという思いを込めた式典です。ご遺族だけではなく、多くの市民の皆さんのご参列をお願いします。

●日時 8月20日(水) 13:00
 ●場所 中央公民館講堂
 ○参列される方は、12時50分までに受付をしてください。
 問 市・総務課 ☎ 42-1801

■図書館で開催する事業

1 アニメ・記録映画上映会

●日時 「戦争が終わった夏に」(74分)
 8月10日(日) 10:30
 17日(日) 13:30
 「慟哭(どうこく)の証言」(70分)
 8月10日(日) 13:30
 17日(日) 10:30

●場所 市立留萌図書館視聴覚室
 ○「戦争が終わった夏に」は樺太引揚船「小笠原丸」にその夏、何が起こったのかを描いたアニメです。「慟哭(どうこく)の証言」は三船殉難の証言を記録したドキュメンタリーです。

2 平和資料展

平和への祈り～今に伝える戦争の悲劇～

●日程 8月3日(日)～28日(木)
 ●場所 市立留萌図書館ホール
 ●展示図書、貸し出し図書
 「留萌沖の悲劇」
 「月刊ダン 昭和50年8月号終戦特集 留萌沖に消えた千七百人」
 「樺太終戦秘話 三船殉難の記録」など
 ○今を生きる人々に伝えるために、戦争の悲惨さや戦時中の過酷な生活などに関する図書を展示、貸し出します。
 問 市立留萌図書館 ☎ 42-2300

■平和の折り鶴募集

▼平和への願いを込めた千羽鶴を募集しています。

●回収場所
 市役所、保健福祉センターは一とふる、市立病院、るもい健康の駅の各折り鶴専用ポストで回収しています。

●折り鶴について
 折り鶴はテグスまたは丈夫なひも(タコ糸など)で1本50羽(20本)または1本40羽(25本)に束ねてください。1本の長さはおおよそ1.5メートルが目安です。

○留萌市平和祈念式典にささげた後、広島市の「原爆の子の像」へ送付します。
 問 市・総務課 ☎ 42-1801



■原爆資料展

「広島・長崎原爆パネル展」

▼昭和20年8月、一瞬にして21万人以上の人命を奪ったのは、2発の原子爆弾でした。

●日程と場所
 8月1日(金)～8日(金) (土日除く)
 保健福祉センターは一とふる1階ロビー
 8月11日(月)～18日(月) (水曜日除く)
 るもいプラザまちなか賑わい広場
 8月20日(水)
 中央公民館講堂留萌市平和祈念式典会場
 問 市・総務課 ☎ 42-1801

戦争のない平和な未来のために…

終戦から69年が経過した現在、戦争経験者の高齢化が進み、戦争の記憶の風化や若い世代を中心とした、平和への意識の希薄化が強く懸念されています。戦争のない恒久平和を目指し、次の世代へ戦争の悲惨さ、平和の大切さや尊さを改めて伝えていきたいと思います。



平和の大切さを未来に伝えよう

広島に人類史上初めて原子爆弾が投下され、今年で69年を迎えました。市では、戦争の悲惨さと平和の尊さを後世に語り継ぎ、地球上から永久に核兵器が廃絶されることを願って、昭和59年に「平和都市宣言」を行いました。

これまで、世界の恒久平和の実現を願い、広告塔や平和の塔の設置、平和大使派遣事業、原爆写真・ポスター展、戦争記録映画上映など、さまざまな事業を展開してきました。しかし、今もなお、世界各地で争いが絶えることはありません。私たちは強い危機感を持ち、一層平和への努力を強めていかなければなりません。私たちは、過去の悲惨な出来事を教訓とし、将来の日本を担っていく子どもたちに、平和の大切さを伝える義務があることを忘れず、平和のために祈り、発言し、行動することが大切です。

留萌沖の悲劇「三船殉難事件」

終戦直後、留萌沖での有名な「タイタニック号」の死者数を上回る犠牲者を出した「三船殉難事件」が起きました。昭和20年8月22日、

樺太からの引揚者を乗せた3隻の船が小樽方面に航行中、旧ソ連の潜水艦の魚雷攻撃を受けました。

「小笠原丸」は増毛沖で、「泰東丸」は鬼鹿沖でそれぞれ沈没、大破しながらも留萌港にたどりついたのは「第二新興丸」ただ1隻でした。

傷ついた船体は傾き、船上の惨状は目を覆うものがあつたと記録されています。その際、当時の留萌町警防団や警察署のほか、多くの町民が遺体の収容や埋葬、生存者の救護に当たりました。

この惨劇によって1,708人の尊い命が犠牲となり、いまでも多くの人々の胸の中に深い傷として刻まれています。

市では、三船の犠牲者の慰霊碑(平成22年に千望台から海のふるさと館隣接の岬緑地に移設)を平成7年に建立し、冥福を祈っています。



▲三船殉難事件慰霊碑

留萌市平和都市宣言

留萌市は次のとおり平和都市となることを宣言する。

真の平和を希求することは、人類共通の願いであり、この崇高な理想実現のため、常に努力を続けて行かなければならない。私たち市民は、今日の緊張した国際情勢を認識し、我が国の非核三原則の堅持はもとより、核戦争の脅威を排除するため、地球上から永久に核兵器が廃絶されることを強く願うものである。ここに留萌市は恒久の平和を願い幸せな市民生活を守る決意を表明し、非核平和都市を宣言する。

昭和59年5月3日

※希求…願うこと
 崇高…何も比較できない偉大なこと
 堅持…かたく守って他に譲らないこと

ご協力をお願いします

下記の日程でサイレンを吹鳴しますので、1分間の黙とうをお願いします。
 ○全国戦没者追悼式 8月15日(金) 12:00
 ○留萌市平和祈念式典 8月20日(水) 13:00